

# Noto Rotary Club

2024～2025

Weekly Report



能都ロータリークラブ

第2610地区 石川第四グループ

No.35

2025年 3月 27日 (木) 第2771回

通常例会

於：能登町商工会館2階



RI会長 ステファニーA.アーチック  
「The Magic of Rotary」

- ⌚ 開会点鐘 12:30
- ⌚ 司会進行：鍛治 S・A・A  
ソング：我等の生業
- ⌚ 再会の握手：感染防止の為割愛
- ⌚ 水と衛生 月間
- 今月のロータリーレート 1\$ = 150 円

- ⌚ 委員会報告
- 出席報告：船田委員  
ホームクラブ 23/36名中 63.88%
- メーク補正後 100%
- ニコニコBOX：大谷委員  
15件 16,000円

会長の時間 朝倉学 会長

3月15日、16日に富山県黒部市で第2610地区の地区大会が行われ、1日目の指導者育成セミナーに、持木ガバナー補佐・中川幹事と私の3名が出席してきました。



大橋ガバナーによる開会点鐘、挨拶で始まりました。

講演1では、「国際ロータリーの方向性」がテーマです。

RI会長・ステファニーA.アーチック氏のメッセージに「時代に合わせて進化しなければならない」と有ります。RI会長代理の新井氏は、クラブをどうやって活性化したらいいかを各クラブ自身で考え、運用・運営の柔軟化をしても構わない方針で有ると話されました。

ロータリーの基本は「楽しく、好きな居場所」であるとの事です。

講演2は珠洲市の泉谷市長の講演「能登半島地震・豪雨災害の被害と復興について」です。

昨年1月1日の地震は、過去2回の時とは桁違いの地震であり、一日でも早い復旧・復興はもちろんの事、人口の減少が止まらないなかで、今後珠洲の魅力をどうやって再生していくかが課題との事です。

又、特別講演では株式会社熊谷組元社長大田弘様が「黒部ダム建設に学ぶリーダーの有り方」についてのお話しが有り、黒部ダム建設の構想段階から完成までの多くの難問や、苦労を楽しくおかしく話され、なかなか聞きごたえのあるお話しでした。

工事は、昭和31年に始まり昭和38年に完成しました。

完成祝賀会では、関西電力の当時の社長が、熊谷組笛島班の笛島氏に「7年の歳月の間、労働災害で171名の殉職者が出了ものの、延べ1千万人の作業員の中で1人の退職者も出さなかったのは、なぜですか」と聞いたところ「人の使い方で、怒鳴ってもダメ、甘やかしてもダメ、惚れさせることです」と答えたそうです。



幹事報告 中川満 幹事

2610地区より支援金を頂きました。25日に振り込まれました。

2520地区（岩手県大船渡市）の山林火災について、支援金を送ります。



環境保全委員会 高田貞夫 副委員長

4月17日 ヤマメの放流を行います。

例会場は「春蘭の里」です。

能登高校より先生・生徒も参加します。

放流する河川は「宮地川」「矢波川」「梶川」「神野川」の4河川で、合計約6000匹放流します。皆さん、多数の参加をお願いします。



地区大会に出席した「五田会員」「木地会員」より、大会についての報告がありました。



- 次月度プログラム 持木一茂 会員  
4月3日 能登町商工会館2階 12:30 開会点鐘  
PETS報告：執行部  
誕生・結婚祝い：親睦委員会  
4月10日 田ノ浦荘 12:30 開会点鐘  
観桜例会：親睦委員会  
4月17日 春蘭の里 12:30 開会点鐘  
ヤマメの放流：環境保全委員会  
4月24日 能登町商工会館2階 12:30 開会点鐘  
社会奉仕賞授与式：社会奉仕委員会

